

日本学術会議社会学委員会フューチャー・ソシオロジー分科会  
(第25期・第8回)  
議事要旨

日時：令和5年9月8日（金）16：00～19：30

会場：オンライン開催

出席者：今田高俊、遠藤薫、西條辰義、佐藤嘉倫、立川雅司、友枝敏雄、野宮大志郎、渡邊秀樹

オブザーバー：矢澤修次郎

議題

(1) 前回議事要旨の確認

前回の議事要旨を確認した。

(2) 各委員より研究概要の発表

(3) 発表全体のまとめとディスカッション

書籍「フューチャー・ソシオロジー」共同執筆に向けて、前回発表した野宮委員以外の7名が発表し、質疑応答を行った。

なお野宮委員も資料を提出した。

西條委員は、7名の発表すべてにコメントを行った。

7名の発表のタイトルは以下の通りである。

渡辺委員 「バックキャストという視点を家族社会学に引き寄せて  
→未来（＝子ども）から現在（親の行為）を見る。」

今田委員 「持続可能な社会と民主主義：危機と未来への道」

佐藤委員 「レジリエントな社会のためのフューチャー・ソシオロジー」

遠藤委員 「「未来からの問い」に社会学は何を答え得るのか」

立川委員 「将来世代人はどこに属しているのか？

－フューチャー・デザインに関する社会的考察－

友枝委員 「フューチャー・デザインという方法の可能性」

矢澤委員 「フューチャー・デザインに関するノート」

(4) その他

(a) 丸善出版に出版をお願いすることにした。

すでに友枝委員より、丸善出版編集者小林氏に、打診して基本的な了解を得ている。

書籍の内容および構成については、これから野宮委員長が小林氏と交渉することになった。

(b) 原稿については、2024年1月頃まで第1稿を作成し、1月頃にオンライン会議を開催することにした。なお10月以降、この分科会は学術会議

の分科会としてではなく、研究会として存続していく方向で進めていくことになった。

- (c) 2024年の日本社会学会大会（2024年秋開催予定）で、出版予定の原稿を元にして、報告部会（部会の形式をテーマセッションにするか、それとも自由報告部会にするかについてはこれから検討する。）を実施することにした。
- (d) 友枝委員の論文については、フューチャーデザインワークショップに参加した3名の研究者も含めて、4名の共著論文にすることが了承された。

以上。